

未来への扉

～進路支援通信 vol.1～



2021年4月16日(金)
兵庫県立福崎高等学校 進路支援部

「進路支援部」は、生徒の皆さんが高校生活の中で進路の目標を定め、その実現に向けて一歩踏み出せるよう応援していきます。今年度の「進路支援部」は、部長くわな名浩之、大野純子、金岡亜希子の三人が担当として、皆さんの進路をサポートします。

さて、新年度がスタートしました。新しい生活環境に慣れ、生活リズムを早く立て直すためにも、次の二点を守って毎日過ごしてください。

- 起床時刻と就寝時刻を一定にする。
- 学習開始時間を決めて、毎日規則正しく学習する。

昨年度から大学入試にかかわる入試方式・日程が大きく変更されました。(下図)

大学における出願・合格発表・試験日程		
	出願開始	発表
総合型選抜	9 / 1 以降	11 / 1 以降
学校推薦型選抜	11 / 1 以降	12 / 1 以降
一般選抜	入試 2 / 1 ~ 3 / 25	3 / 31 まで

3年生で大学受験希望者は、今は受験のための基礎力を養う時期です。夏休みの7、8月に基礎力を完成させるためにも、先延ばしせず、今日から生活リズムを整え、学習目標を掲げて、学習時間を確保してください。

また、裏面に73回生の進路状況を掲載しています。先輩の頑張りを参考に、自分の進路の目標をしっかりと考えてみてください。

進路閲覧室を利用しよう!

進路閲覧室は、進路に関する様々な情報が詰まっています。進路について迷っている人は、出来るだけ早く足を運び、進路支援部担当教員に相談したり、資料を見てみよう。先輩の受験報告書もあるので、面接や小論文がある学校の受験で、どうすればいいか迷っている人にもオススメです。パソコンもあるので、最新情報を検索することも出来ます。

昼休みや放課後には、進路支援部担当教員がいるので、気軽に相談してください。

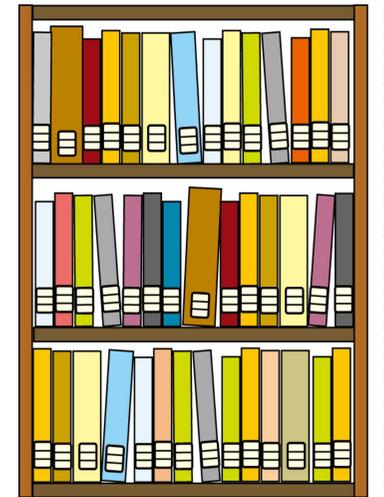
■場所…本館2F西奥(職員室の真上)「3年選択教室3」の隣

■何を閲覧できるのか?

各大学や専門学校の案内パンフレット、過去の願書、過去の問題(就職、公務員用も含む)、受験報告書、求人票等

☆進路閲覧室利用における注意☆

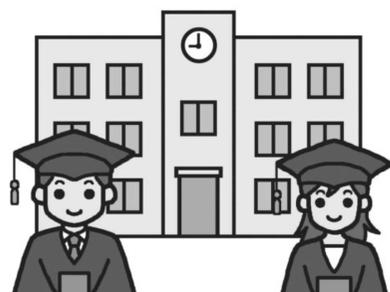
1. 教師がいる場合のみ使用可能です。
2. 資料の閲覧・相談は以下の時間帯に限りませう。
昼休み 13:15(予鈴)まで
放課後 17:30まで
3. 利用上のマナーをよく守りませう。
 - ・筆記具のみ持ち込み可能。カバンは廊下に。
 - ・入退室の際は挨拶をきちんとする。
 - ・室内で不必要な私語はしない。
 - ・飲食はしない。
 - ・進路閲覧室では、原則として教科の学習はしない。
4. 赤本、問題集等を借りる際はルールを守りませう。
 - ・貸し出しは1回につき1人1冊のみ。
 - ・貸し出し期間は1週間未満。
 - ・借りる際は必ず進路の先生に許可を取り、貸出簿に記入すること。
 - ・募集要項、願書、パンフレット類は持ち出し禁止。
 - ・返却した際は必ず貸出簿に返却日を記入すること。
 - ・赤本は番号に従って、返却すること。



◇73回生の進路状況(合格者数)～志望校選びの参考に

国公立大学 20名	私立大学 262名
神戸大学(理)	関西学院大学(法・社会・商・生命環境・工)
岡山大学(工)	甲南大学(文・法・経済・知能情報)
鳥取大学(工)	神戸学院大学(人文・経済・薬・総合リハ・栄養他)
島根大学(総合理工)	神戸女学院大学(文)
愛媛大学(工)	神戸女子大学(文・看護・家政)
高知大学(人文社会・農林海洋)	神戸常盤大学(保健科学)
兵庫県立大学(環境人間・理)	兵庫医療大学(看護)
福知山公立大学(情報)	武庫川女子大学(文・経営・生活環境)
公立鳥取環境大学(環境)	同志社大学(社会・スポーツ)
広島市立大学(情報科学)	京都産業大学(法・経済)
尾道市立大学(経済情報)	龍谷大学(文・法・経済・国際・社会・先端理工・農他)
山口東京理科大学(工)	関西大学(経済・化学生命)
秋田県立大学(システム)	近畿大学(文芸・法・経済・経営・国際・総合社会・工)
福島県立医科大学(保健科学)	大阪工業大学(工・ロボティクス・情報科学・知的財産)
都留文科大学(教養)	関西外語大学(外国語・英語国際)
静岡県立大学(国際関係)	川崎医療福祉大(医療技術・リハビリ)
	など

短期大学 18名	専門学校 34名
武庫川女大短大(幼児教育・生活造形他)	姫路医療センター附属看護学校
神戸女子短大(総合生活)	姫路市医師会看護専門学校
産業技術短大(情報処理工)	兵庫県立総合衛生学院
神戸常盤大短大(口腔保健)	神戸総合医療専門学校(診療放射線)
兵庫大短大(保育)	姫路情報システム専門学校
など	など



～進路支援部長のひとりごと～

今回のコロナウイルスの乱を、自分の成長に利用するための思考法
—「治にいて乱を忘れず」

生においては、旧連続(今までの連続)―非連続(切断と混乱)―新連続(新たな連続)―旧連続が繰り返される。こうなるのは、連続して使用しているシステム(制度)は時間がたつにつれて、現実から離れてしまうとともに勤続疲労を起し、質が低下してしまう一方で、慣性の法則で現状維持を続けようとしてしまう。そう言う中で、黒船来航のように、従来の連続を断ち切るような出来事が、意図的もしくは偶然的に生じ、世の中に混乱をもたらせる。それによってもはや今までのシステムや生活の継続ができなくなり、システムや在り様を一新せざるを得なくなり、新しい連続、新しい秩序が始まる。しかし、これも続けていくことでやがて、それも古びてしまうからである。大きくは人類や日本の歴史、小さくは個人の人生においてこういう循環は繰り返されてきた。

この循環性を意識すると、今回のコロナウイルスによる混乱は現代的生活の連続に対する非連続に対応するが、同時に、高校生が3年間で終わり、次に進む上で大学入試があるということが、高校生にとっての非連続に対応するのであり、どちらにおいても新しい段階、つまり新連続へと成長できるかどうか問われることになる。

どの社会においても、人生ノート各時期に、こういう非連続を意図的に用意してきた。それは通過儀礼と呼ばれるものだが、それを通過できない者はまだ次の新連続に進む能力がないとみなされ、再挑戦することが求められる。この通過儀礼の1番の代表は、一人前の大人とみなせるかどうかを評価される、本来の意味での成人式である。そして現代日本では受験勉強と大学入試が成人式としての役割を果たしている面があるといつてよい。

以上からすれば、コロナウイルスの混乱から新しい社会を作れるかどうか、日本や世界が大人になれるかどうか、自然が用意した通過儀礼として、試されているということになるとともに、それと類似した形で、高校生が、受け身的な学習者から大学で求められる能動的な学問者に変えられるかどうか、受験勉強と入試という、日本社会が用意した通過儀礼として試されているのである。

江戸時代の武士の生における基本精神に「治にいて乱を忘れず」ということがあった。鎌倉時代の武士には「いざ鎌倉」の精神があった。そして夏目漱石の弟子である寺田寅彦は、関東大震災を受けて「災害は忘れたころにやってくる」と警告を発した。いずれも生においては、非連続が来ることを前提として生きよという共通性がある。

歴史の知恵を踏まえ、今までの生活の連続が今後も当たり前が続くなどと思わずに、非連続がいつ来てもそれなりの対応ができるよう、長期的な視野で自分を鍛えながら、日常の連続を生きていく必要があると、今回のコロナウイルスによる混乱を見つつ、改めて確認している今日この頃である。